



もっともっと知ってほしい。

# ながのけんの児童福祉施設

# Kids Home

2023年 春号

vol.3

地域と  
児童福祉施設の役割

**編集後記**

Kids Home vol.3をお届けします。今春、こども家庭庁が発足する中、長野県の児童福祉施設についても関心を寄せていただけたらさいわいです。

今号の発行にあたり、ご協力いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

発行：一般財団法人長野県児童福祉施設連盟 広報担当  
 〒394-0048 岡谷市川岸上4-12-51 つつじが丘学園内  
 TEL.0266-22-2574 FAX.0266-78-7746  
 e-mail : jimukyoku-njfsr@sunny.ocn.ne.jp

一般財団法人  
 長野県児童福祉施設連盟

発行日：2023年3月





特集

# 連盟顧問 高島県議会議員と 川瀬連盟会長との対談

こども基本法制定・こども家庭庁設立を  
控える中、虐待問題、施設養育などを  
語っていただきました。

**川瀬:**長野県児童福祉施設連盟顧問の高島先生には大変お世話になりありがとうございます。

さて、2023年4月は子ども基本法や子ども家庭庁ができ、子ども中心の社会に向けて動き出します。すべての子どもたちの命と生活が大人たちによって守られ、自立までの援助が受けられること、その環境の中で主体的に選択できる社会になることは、素晴らしいことだと思っています。

「子ども中心の社会」と言っても大人社会が真剣に考えなければならぬことだと思いますが、残念な事件も起きています。

そこで、議員としてまた養育者でもある高島先生にお聞きしたいのですが、今まで頑張ってきた児童福祉現場

で、虐待ということが実際に起きているわけですね。そのような事態についてどうお考えですか。

**高島:**あの虐待が起こるメカニズムは科学的に解明されつつあるにもかかわらず、ずっと続いているというのは、人間の、他者に対する見方の貧困さからきていると思います。虐待は、した人とされた人の問題だけではなく、その周りを支えている人たち…カウンセラーから始めて、具体的に調査や検討をしていく行政機関の人たちなど、担っている多くの人たちの周りに隙間が出来てしまっていることも関係していると思います。

これを厚くしていくためには、児童養護施設も含めて子どもに

関係したり教育や養育に関係したりする人たちの賃金の底上げを先ずしなければいけない。処遇改善から始めていけば、いろいろなことが解決する気がしますね。良い人材の確保をするためには、生活を成り立たせていく経済基盤が必要です。人に関わる仕事、福祉を含め教育も、子どもから始まっていると考えます。子どもを育てたり寄り添ったりしていく仕事にもう少し投資しないと、皆が後で大変なことになってしまうと強く感じています。具体的な処方箋を本来は国の責任において実施してほしい。県だけでは難しいとの認識をふまえ、意見書などを通じて国へ強く求めていくべきだと思います。

**川瀬:**だから、虐待はAとBの問題だけではなくて、その中間にいるその機関も含めて、包括的にその対応を取らないと解決の道筋が見えないということですね。児童相談所はこれから全国で2000人職員を増やすと言われますが、実際に人数だけ増えたとしても、それが問題解決に繋がるかどうかは疑問です。職員も研修や実践経験を積み、先輩職員からアドバイスを受け、自分の力量を培っていくもので、時間がかかるわけですね。

こども基本法やこども家庭庁も含めて里親の委託推進や家庭的養育の推進という部分では、かなりスピード感をもって進めていこうという傾向がありますが、啓発や登録数だけ増やしても肝心の里親や支援職員の育成や支える環境がついていかないのが現状です。ムードだけで何とかしようとするため、その人に丁寧に対応できる仕組みを考えようとはしていません。北欧でも30年以上かけて里親文化というものができている

わけですから、「子育て環境のサポート体制づくりをしっかりとやっていきましょう。」「その間にいろいろな問題があるかもしれないけれども、それは、みんなで考えていきましょう。」そういう考え方をしてほしいと思います。

今、福祉や教育の待遇面も向上は絶対に必要ですし、新しい発想も必要だと思います。例えば、日本の児童福祉施設が海外に行ってその地域と支援を展開するシステムを作るとか。日本に限らず、そこで子どもたちの生活支援をやって自立させていくということをやったっていいんじゃないかと、思っている人間の一人なんです。

**高島:**すごくいいですね。川瀬会長の仰る「グローバルスタンダード。」私も同感です。一つのものの中で自己完結するあり方は限界があり、様々に補う力も必要になってきますね。私もいろいろな資源と繋っていくような施設のあり方が大事だと思っています。その意味で先行して子どもを育む

基地のようなあり方をすでにされていると思うんですけど、児童養護施設の職員全てが仕事に誇りを持って、自分はこの子たちの親や身内ではないけれど尊厳を守っているんだぞっていう気概をもって、働き続けてもらえるようにしなければいけないと思っています。そうすることで、子育てについてこれで良いのかしらと悩んでいる人が相談できたり、こうやったら心のケアができるんだっていう気持ちを支えてもらえたりする場所になると確信します。ピアカウンセリング的なことにも対応できるような、センター的な役割を果たす場所になってほしいなと思いますね。そのためにも、児童養護施設が社会的な認証を持って応援されるために、ますます行政機関が後押しをしないといけないと強く感じています。

-完-



長野県児童福祉施設連盟 顧問  
長野県議会副議長

## 高島 陽子 氏

1993年 信濃毎日新聞社入社 記者勤務  
2007年 長野県議会議員初当選  
2022年 第100代長野県議会 副議長 就任

長野県体操協会副会長など  
大学で教員免許(保健体育)取得。  
公立児童館支援員経験など通じて二男二女の母としても子育て経験が豊富。





## 児童家庭支援センター

### どんなところ？

児童家庭支援センターは地域の子どもやご家庭の相談を受けたり地域の専門機関と協働して子どもたちを取り巻く様々な課題を一緒に考える場所です。

相談には児童福祉に関する知識を持ち、地域の市町村や保育園、学校と連携する「相談支援職員」や子どもや家族、支援者の心をケアする「心理担当職員」など多方面から皆さんをサポートします。

全国の児童家庭支援センター協議会に登録されているセンターは、令和4年6月現在、167ヶ所となっています。長野県内には松代児童相談センター「ふらっと」、児童家庭支援センター「けいあい地域子育て支援相談室」、松本児童家庭支援センター「あいく」、児童家庭支援センター「スマイル」、児童家庭支援センター「つつじ」、下伊那こども家庭支援センター「こっこ」の5つのセンターがあります。

### どんなことをしているの？

私が勤務する児童家庭支援センター「つつじ」では、子育ての相談や発達の相談、不登校や進学に関する相談等、子どもや家庭に関する幅広い相談を行っています。時には、通院や事務手続き等の同行、家庭訪問や外出をして相談員が直接お子さんとお話したり、遊んだりすることもあります。家庭での心配ごとをお聞きし、「どうしたら不安が解消できるか」を相談者さんと一緒に考えます。

例えばお子さんの送迎に運転免許の取得が必要だが、なかなか免許が受からないという相談には、試験勉強を一緒にやり免許取得のお手伝いをします。また被虐待体験などによるトラウマに関する相談についても、心理担当職員が専門のプログラムを用いてカウンセリングを行います。相談内容は様々ですが、相談者さん一人一人に寄り添いながら、ともに歩んでいけたらと感じています。

児童家庭支援センターつつじ



児童家庭支援センターつつじ

## 子育て短期支援事業

### 事業の目的

保護者の疾病、その他の理由により家庭において児童の養育が一時的に困難となった場合に市町村を通して児童を児童養護施設等で短期間、預かる事業です。

なお利用希望者は各市町村へお問い合わせ下さい。

松代福祉寮では主に長野市からの依頼を受け、ショートステイやトワイライトステイの受入れをしています。家庭に近い環境の中で職員が食事を作り、一緒に過ごしながら、子ども達と楽しく過ごせる様に取組んでいます。



### トワイライトステイ

#### 【利用理由】

保護者が不在となり  
児童の面倒を見れない場合

#### 【期間】

平日：午後5時から午後10時まで  
休日：午前8時から午後6時まで



### ショートステイ

#### 【利用理由】

- ① 病気、怪我
- ② 妊娠及び出産
- ③ 同居の親族の介護
- ④ 冠婚葬祭、学校等の公的行事への参加
- ⑤ 育児疲れ
- ⑥ 火災、風水害、震災の復旧

#### 【期間】

6泊7日以内（日帰り不可）



児童養護施設 松代福祉寮

子育てを応援します

## Q & A

Q. 相談をしたいのですが…

A. 電話での予約または来所して予約を受付ます。電話相談、メール相談も可能です。

Q. 誰でも相談できますか？

A. 子どもでも大人でも相談できます。

Q. 利用はどのくらいかかりますか？

A. 長野県からの委託を受けた事業のため無料です。



地域へ  
向けた  
事業

里親を知らない人・興味がある人・なりたい人

# 子どもと里親を知るための 広報啓発活動



市町村担当者と一緒にリクルート活動

市町村の担当職員と一緒に広報啓発にも取り組んでいます。図書館内でのパネル展示やお話会で興味を持った方が、声をかけてくれることもあります。

地域に出向いての活動は、直接市民の皆さんの声が聞かれる機会として大切にしています。

里親制度広報啓発  
Point

社会の仕掛けをつくる  
顔が繋がる協働



里親制度活動のYouTube発信

新聞や地域の広報誌、YouTube等のSNS発信を通して、里親制度を知ってもらう活動をしています。そうした活動が「里親になってみたいかも…」という空気を作るナッジ(nudge)になっていけばいいなあと考え、民間団体と一緒に活動に取り組んでいます。

塩尻図書館の協力で作った  
里親関係絵本の小冊子



自治体マスコットキャラクターの  
宣伝効果は素晴らしい!!  
子どもの興味を誘う仕掛けがあると、  
立ち止まる大人が増えますね。



(左：松本市アルプちゃん)

R4. 4/30  
信毎メディアガーデン



商業施設での説明会



宣伝効果抜群の  
大きなポスター



広報啓発に欠かせない「里親家庭の暮らし」写真パネル

広報啓発は、委託可能な里親を開拓することで、その際大切なことは、その里親と協働できる環境をつくる、いわば社会の仕掛けをこの段階でつくることだと考えています。ですから、市町村は勿論、企業や民間団体と協働する(顔が繋がる)ことを視野に入れて活動しています。社会の様々な分野の人達が里親について意識することで、理解を促すチャンスは広がります。そして、里親制度を「見える化」することが、今後の里親制度広報啓発には必要不可欠ではないかと感じています。

乳児院 松本赤十字乳児院

## 県内 社会的養護施設の紹介

### ●東北信地区●

#### 長野市内

##### 児童養護施設 三帰寮

●入所定員 35名

〒381-0021 長野市大字屋島2373番地  
TEL.026-244-8355 / FAX.026-244-1116  
<https://www.daikanjin-youikuin.com/sankiryou/>



##### 児童養護施設 松代福祉寮

●入所定員 52名

〒381-1221 長野市松代町東条字腰巻108番地2  
TEL.026-278-2556 / FAX.026-278-7333  
<https://matsushiro-fukushi.jp/>



##### 乳児院 善光寺大本願乳児院

●入所定員 18名

〒380-0801 長野市箱清水3丁目19番2号  
TEL.026-232-2292 / FAX.026-232-5881  
<http://www.zenkouji-dn.com/index.html>



##### 児童自立援助ホーム 夢住の家

●入所定員 6名

〒380-0803 長野市三輪4丁目1-20  
TEL.026-217-5652 / FAX.026-217-5652  
<https://musunoie.jimdofree.com/>



#### 飯山市内

##### 児童養護施設 飯山学園

●入所定員 41名

〒389-2253 飯山市飯山3180  
TEL.0269-62-2339 / FAX.0269-67-2626  
<https://e-gaku.or.jp/>



#### 千曲市内

##### 児童養護施設 恵愛

●入所定員 45名

〒387-0021 千曲市稲荷山3842-1  
TEL.026-214-1315 / FAX.026-273-2301  
<http://www.hachiyokai.or.jp/>



#### 上田市内

##### 児童養護施設 森の家はらとうげ

●入所定員 30名

〒386-0033 上田市御所38番地  
TEL.0268-22-1195 / FAX.0268-22-7500  
<https://www.haratougehoyouen.jp/>



##### 乳児院 うえだみなみ乳児院

●入所定員 9名

〒386-0018 上田市常田1-4-12  
TEL.0268-29-3750 / FAX.0268-26-2522  
<https://nyujiin.keiroen.or.jp/>



#### 軽井沢町内

##### 児童養護施設 軽井沢学園

●入所定員 41名

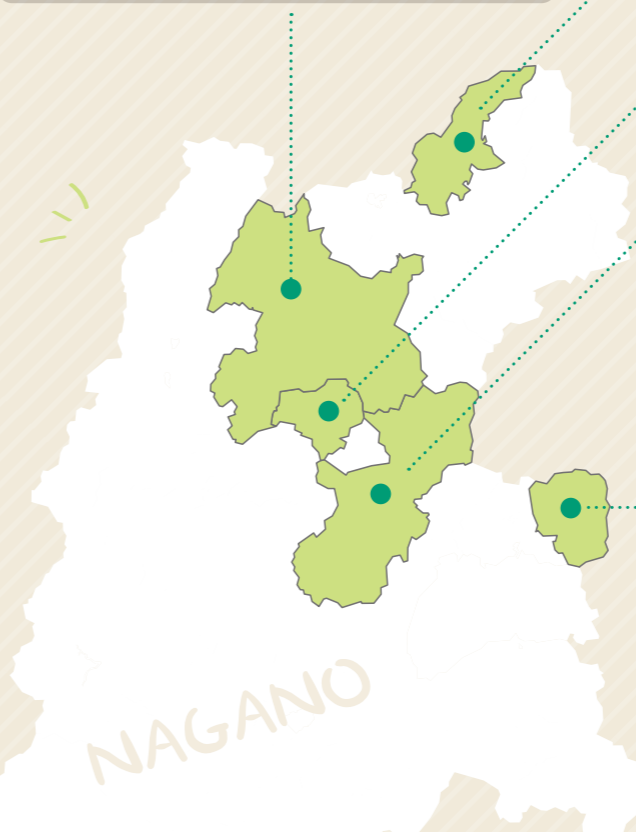
〒389-0115 北佐久郡軽井沢町追分1341  
TEL.0267-45-1295 / FAX.0267-45-1341  
<https://www.karuizawa-gakuen.jp/>



##### 児童養護施設 興望館杏掛学荘

●入所定員 30名

〒389-0111 北佐久郡軽井沢町長倉2436  
TEL.0267-45-6186 / FAX.0267-45-5947  
<http://www.kobokan.jp/kutsukake.htm>





県内  
社会的養護施設の紹介

●中南信地区●

岡谷市内

児童養護施設 つつじが丘学園

●入所定員 47名  
〒394-0048 岡谷市川岸上4丁目12番51号  
TEL.0266-22-2574 / FAX.0266-22-8900  
<http://www.tsutsuji.or.jp/>



伊那市内

児童養護施設 たかずやの里

●入所定員 40名  
〒399-4432 伊那市東春近7000番地8  
TEL.0265-72-6456 / FAX.0265-72-7607  
<http://www.janis.or.jp/users/takazuya03/>



豊丘村内

児童養護施設 慈恵園

●入所定員 31名  
〒399-3202 下伊那郡豊丘村大字神稲4461-1  
TEL.0265-35-4815 / FAX.0265-35-7400  
<https://shimofuku.or.jp/pages/47/>



飯田市内

児童養護施設 風越寮

●入所定員 30名  
〒395-0077 飯田市丸山町4丁目7537-10  
TEL.0265-22-1489 / FAX.0265-22-1844  
<http://fuetsu-ryou.com/>



児童養護施設 おさひめチャイルドキャンプ

●入所定員 30名  
〒395-0021 飯田市仲ノ町305-6  
TEL.0265-22-3875 / FAX.0265-21-2101  
<http://www.osahime.or.jp/>



乳児院 風越乳児院

●入所定員 10名  
〒395-0077 飯田市丸山町4丁目7490番地3  
TEL.0265-22-4127 / FAX.0265-52-0192  
<http://fuetsu-nyujiin.com/>



松本市内

児童自立支援施設 波田学院

●入所定員 27名  
〒390-1401 松本市波田4417  
TEL.0263-92-2014 / FAX.0263-92-2196  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/hatagaku/index.html>



児童心理治療施設 松本あさひ学園

●入所定員 30名  
〒390-0802 松本市旭2丁目11番25号  
TEL.0263-88-3737 / FAX.0263-34-5066  
<http://park7.wakwak.com/~asahigaku/>



児童養護施設 松本児童園

●入所定員 36名  
〒390-0851 松本市島内1666-880  
TEL.0263-47-0590 / FAX.0263-47-0594  
<http://www.go.tvn.ne.jp/~matuji/>



乳児院 松本赤十字乳児院

●入所定員 18名  
〒390-0303 松本市元町3丁目8-10  
TEL.0263-31-5203 / FAX.0263-34-2151  
<https://www.mrc-nyujiin.jp/>



上松町内

児童養護施設 木曾ねざめ学園

●入所定員 30名  
〒399-5608 木曾郡上松町大字荻原1211-1  
TEL.0264-52-2313 / FAX.0264-52-3068  
<https://www.ans.co.jp/u/kisonezame/>



子どもたちと

共に

子どもと

感じる喜び



私はおさひめチャイルドキャンプに就職し、4年目になります。当施設は2年半程前に建て替えをし、大舎制から小舎制になりました。現在は5つのユニットに分かれ、子どもたちは日々生活をしています。私は中高生男子ユニットを中心に支援をしています。1年目の時には子どもとの関わりで悩むことが多くあり、不安になることもありましたが、今も悩むことはあり、時には子どもと言い合いになることもあります。それでもこの仕事を続けていられるのは、それ以上に楽しいことや嬉しいことが沢山あるからです。何より1番の理由は「子どもの成長を傍で感じられる」ということです。子ども達は時に色々な悩み、不安を抱えています。それらを解消する為、一緒に考えることが職員の仕事の1つでもあります。アドバイスをすることで子どもが自分で考えて動けるように、話を聞いてあげることで自分の気持ちを素直に表現できるように、少しずつ成長する子どもの姿を見ると凄く嬉しい気持ちになります。子どもに寄り添いながら成長の手助けを出来る、児童養護施設の仕事はとても素敵で魅力的です。

児童養護施設 おさひめチャイルドキャンプ  
男性保育士

私は飯山学園に就職し、2年目になりました。仕事をする中で、「難しいな」「大変だな」と感じることはたくさんありますが、それ以上に「嬉しい」「楽しい」と感じる瞬間が多くあります。例えば、クリスマスやお正月などの行事です。行事がある日は普段以上に子どもたちの笑顔をたくさん見ることが出来ます。こういった特別な時間を子どもたちと過ごすことができるのは、この仕事に就いている者の特権だと思います。そんな行事の中で私が特に楽しかったものは、夏に小学生以下の子どもたち数人と行ったキャンプです。魚の掴み取りや釣り、ピザを作ったり、ボートに乗ったり…。私も子どもたちも初めての体験がたくさんあり、終始笑顔の絶えない、本当に素敵な思い出になりました。今でもふとした時に子どもたちの方から、「キャンプ楽しかったよね。」と言ってくれることもあり、一緒に行くことができ本当に良かったなと感じます。

大変なこと以上に楽しいこと、嬉しいことがたくさんあるこの仕事、ぜひ興味を持っていただければ幸いです。

児童養護施設 飯山学園  
女性保育士

